外国語科学習指導案

日　時　令和８年２月 25 日(水)
第５校時 13:10～13:55
学校名
対　象　第５学年　組　名
会　場　５年　組　教室
授業者

１　単元名

Lesson　9　My Hero, My Dream Friend　*ONE WORLD Smiles　5（教育出版）*

２　単元の目標

進級前に学級の友達のことをお互いにもっとよく知るために、各自が最も紹介したい人物について、その人の特徴にふれながら話して伝え合うことができる。

３　単元の評価規準

ア　知識・技能	イ　思考・判断・表現	ウ　主体的に学習に取り組む態度
①　He/ She の代名詞や I can 動詞など、これまで学習してきた表現の使い方を理解している。 ②　自分の紹介したい人物について、その理由を短い会話を通して友達と伝え合うことができる。	①　友達に最も紹介したい人物のことを知ってもらうために、その人のよさや特徴、理由について、聞き手を意識しながら話して伝え合っている。	①　友達に最も紹介したい人物のことを知ってもらうために、その人のよさや特徴、理由について、聞き手を意識しながら話して伝え合おうとしている。

４　指導観

⑴　単元観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年３月告示）　第２章　第 10 節　外国語　第２　英語　１　目標　⑶　話すこと[やり取り]

> イ　日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

また、同２　内容〔第５学年及び第６学年〕　〔知識及び技能〕　⑴　英語の特徴やきまりに関する事項

> エ　文及び文構造
> ㋑　文構造
> c　［主語＋動詞＋目的語］　のうち、
> 主語＋動詞＋［名詞／代名詞］

及び、同２　内容〔思考力、判断力、表現力等〕　⑵　情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項

> ア　身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合うこと。

さらに、同２　内容　⑶　言語活動及び言語の働きに関する事項

①　言語活動に関する事項 ウ　話すこと［やり取り］ （ｲ）日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。 ②　言語の働きに関する事項 イ　言語の働きの例 （ｳ）事実・情報を伝える ・説明する　・報告する　・発表する

を受けて、進級前に学級の友達のことをお互いにもっとよく知るために、各自が最も紹介したい人物について、その人の特徴にふれながら話して伝え合うことができる言語活動を設定することとした。

⑵　児童観

当学年は、外国語活動で、自分の好きなものや嫌いなもの、欲しいもの、日課などについて言語活動を通して英語の使用に慣れ親しんできた。第５学年の１学期では、自己紹介、好きな教科について伝え合う活動を行った。２学期には、自分の夢の１日を紹介したり、自分や他者ができることできないことを発表したり、自分の行ってみたい都道府県について伝え合ったりした。

本学級の児童は、英語を用いた活動に楽しみながら取り組む児童が多い。「話すこと[やり取り]」の学習に関しては、Lesson ６で自分の訪れたい都道府県についてやり取りができた。一方で、相手に自分の言ったことが通じているか自信がなかったり、相手が言ったことを聞き取れるかどうか不安を感じたりしている場面も見られる。本単元では、身近にいる Hero という互いが比較的共通認識しやすいテーマにすることで、自然と英語を使ったコミュニケーションの力を身に付ける。さらに、自分と相手がやり取りを続ける上で、円滑に進めるための方法を児童と一緒に考え、コミュニケーションを充実する。そうすることで、互いに相手を意識したやり取りができることを目指した。具体的には、①話し手の工夫②聞き手の工夫を意識することを指導していく。

⑶　教材観

本単元では、He/ She の代名詞の使い方や He/ She can 動詞～. という表現を用いて自分の身近な人でお世話になっている人や感謝したい人についてやり取りを行う単元である。

単元の言語活動は、進級前に学級の友達と互いのことをもっとよく知るために、その友達や自分の身近でお世話になっている人や感謝したい人について、その人の特徴にふれながら話して伝え合うことである。なおこの単元における Hero の意味は、身近にいる尊敬できる人やお世話になっている人、感謝したい人、憧れの人としている。まずは、単元の序盤に第５学年で習った表現を振り返り、He/ She の代名詞の使い方や He/ She can 動詞～.の表現の定着を図る。紹介する人のよさや特徴について述べる際は、この単元で使用される動詞や形容詞の表現を十分に練習してからやり取りを行う。単元の終盤では、やり取りする上で大切なことは何かについて考え、それに対して必要な表現も身に付けていくこととする。その際、話し手の工夫に関する点で、聞き手に伝わっているか確認しながら話したり、場合によっては写真を見せたり聞き手へ配慮することが大切だと気付くようにする。また、聞き手の工夫に関する点で、話し手の言ったことを称賛するリアクションをしたり、分からないことは聞き返したりすることの大切さに気付くようにする。

（やり取り例）

A：Hello. Your turn, please.
B：OK.
A：Who is your hero?
B：My mother.
A：Mother? Why?

B：She can cook delicious Fried chicken.
A：Fried chicken? That's nice. Tell me more.
B：She is kind.
A：Wow, Good mother.
B：Thank you. Your turn please.
A：OK.
B：Who is your hero?
A：Mr. Tanaka. Do you know?
B：Sorry, I don't know.
A：He is my baseball teacher.
B：Oh. Baseball teacher. Tell me more.
A：He is good at batting.
B：Wow, cool.
A：Thank you.
B：Bye.

5　年間指導計画における位置付け

月	単元名	重点化領域
4	Lesson 1　Nice to meet you.	話すこと［発表］
5～6	Lesson 2　When is your birthday？	話すこと〔やり取り〕
7	Lesson 3　I have P.E. on Monday.	書くこと
9	Lesson 5　I can run fast.	話すこと［発表］
10～11	Lesson 4　This is my dream day.	読むこと
12	Lesson 6　Where do you want to go？	話すこと〔やり取り〕
1	Lesson 7　I'd like pizza.	聞くこと
2	Lesson 9　My Hero, My Dream Friend.（本時）	話すこと［やり取り］
3	Lesson 8　Where is the station？	話すこと［やり取り］

6　単元の指導計画と評価計画（全６時間）

時	目標	○学習内容・学習活動	評価規準(評価方法)
第1時	単元の見通しをもち、自分が紹介したい人を決める。	○　単元目標の提示 ・　本単元のトピックや既習の語彙、表現を振り返る。 ・　ウェビングマップを作成し、紹介したい人に関する情報についてまとめる。	ウ－① （行動観察）
第2時	自分が紹介したい人の情報について整理し、紹介するために使う表現について理解する。	○　人を紹介する時に使う語彙・表現の理解 ・　デジタル教科書を使い、使用する表現を聞き取る練習をする。 ・　紹介したい人についてその特徴について整理する。	ア－① （教科書解答分析、行動観察）

第３時	自分の紹介したい人についてやり取りする時に必要な語句や表現を知る。	○　Who is your hero?とその答え方の表現の理解 ・　Who is your hero? の表現を押さえる。 ・　教師、ＡＬＴの発話を聞き、表現を練習する。 ○　紹介したい人のよさや特徴を伝えるために使える表現の理解 ・　He/She is good at～.や He/She can 動詞.など今まで習った表現が使えることを理解する。 ・　人の特徴や職業を表す語彙を習得する。	ア－① （教科書分析、行動観察）
第４時	自分の紹介したい人についてやり取りする時に必要な語句や表現を復習する。	○　Who is your hero?とその答え方の表現の復習 ・　前時に習った Who is your hero?を使って友達と紹介したい人についてやり取りする。 ○　紹介したい人のよさや特徴を伝えるための表現の復習 ・　He/She is good at～.や He/She can 動詞.の表現を使って自分の紹介したい人の特徴についてやり取りする。	ア－① （教科書分析、行動観察）
第５時(本時)	互いが紹介したい人について、その人の特徴をやり取りする上で大切なポイントについて考える。	○　語句や表現の復習 ・　今までに習ってきた語彙や表現がやり取りでどのように生かされるのか再確認する。 ○　やり取りのポイント理解 ・　話し手と聞き手の立場からやり取りをする上で大切なポイント(①話し手の工夫②聞き手の工夫)について考える。 ○　やり取りの練習 ・　やり取りで意識したいポイントを自分で決め、やり取りの練習をする。 ○　中間指導 　やり取りの練習の間に中間指導を入れ、やり取りで気付いたことを全体で共有し、自分の発表に生かす。	ア－② （行動観察） ウ－① （行動観察）
第６時	やり取りのポイントを意識し、友達と互いの紹介したい人について伝え合う。	○　最終確認 ・　やり取りに必要な語句や表現について確認する。 ○　やり取り ・　ペアでお互いに紹介したい人について伝え合う。 ○　振り返り 　単元のゴールを振り返り、達成することができたかワークシートに記入する。	イ－① （やり取り） ウ－① （行動観察）

7　指導に当たって

ア　自分が最も紹介したい人を選んだり、他者を意識したやり取りの仕方を考えたりすることで「主体的な学び」につなげる。

イ　ペアでやり取りをする中で気付いたことを全体で共有することで他者を意識したやり取りを目指せるようにし、「対話的な学び」を促す。

ウ　中間指導を組み込み、他の児童のやり取りを聞いて、友達のよさを自分のやり取りに生かすことで、やり取りを再構築し、「深い学び」に結び付ける。

8　本時（全６時間中の第５時）

⑴　本時の目標

互いが紹介したい人について、その人の特徴をやり取りする上で大切なポイントについて考える。

⑵　本時の展開

時間	○　学習内容　・　学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価規準(評価方法)
導入 5分	○　Greetings ・　あいさつをする。 ○　Review ・　自分が紹介したい人についてやり取りをする。 A：Who is your hero? B：My mother. Who is your hero? A：Mr. Tanaka.	・　気分、天気、曜日、日にちを確認する。 ・　紹介したい人の名前のみをやり取りすることでやり取りの不十分さを感じさせ、本時の活動につなげる。	
展開① 20分	○　Sharing Today's Goal やり取りのポイントについて考えよう。 ○　Activity① ・　これまでに学んできた語彙ややり取りで使う表現を復習する。 ・　聞き手と話し手の立場からやり取りのポイントについて考える。 ～聞き手のポイント～ A：話し手にリアクションする。 B：うなずきながら話す。 C：目を見て笑顔で話す。 D：分からないところは聞き返す。 ～話し手のポイント～ D：目を見て笑顔で話す。 E：聞き手に伝わっているか確認しながら話す。 F：紹介したい人の写真を見せる。	・　話し手と聞き手の視点からやり取りのポイントを考える。 ・　聞き手は、話し手から話を聞き出す表現や、聞き返す表現がやり取りを円滑にすることを押さえる。 ・　話し手は、聞き手に話の内容が伝わってるか確認する表現の大切さも押さえる。	
展開②	○　Activity② やり取りのポイントを意識し、やり取りの練習をする。 A：Hello. B：Hello.	・　30秒～１分の時間を設定し、Activity①で考えた工夫の中から児童自身が	アー② 自分の紹介したい人物について、その理由を短い会話を通して友達と伝え合うこ

15 分	A：Who is your hero? B：My mother. A：Mother? Why? B：She can cook delicious Fried chicken. A：Fried chicken? That's nice. Tell me more. B：She is kind. A：Wow, Good mother. B：Thank you. Who is your hero? A：Mr. Tanaka. Do you know? B：Sorry, I don't know. A：He is my baseball teacher. B：Oh. Baseball teacher. Tell me more. A：He is good at batting. B：Wow, cool. A：Thank you. B：Bye. ○　中間指導 やり取りをして気付いたことや大切なポイントについて全体で共有する。	意識したいポイントを決める。 ・　やり取りを終えたら、ポイントを意識できたか振り返り、次のやり取りに生かす。	とができる。 （行動観察） ウ－① 友達に最も紹介したい人物のことを知ってもらうために、その人のよさや特徴、理由について、聞き手を意識しながら話して伝え合おうとしている。 （行動観察）
まとめ 5 分	○　授業の振り返り ○　終わりの挨拶	・　振り返りカードを書かせる。 ・　振り返りを書く際に、単元のめあてを振り返り、やり取りのポイントを意識したことでどのようにやり取りが変わったかを書かせる。	

⑶　板書計画

Wednesday, February 25th.
Today's goal
やり取りのポイントについて考えよう。
～やり取りのポイント～

①話し手の工夫	②聞き手の工夫
・アイコンタクト	・アイコンタクト
・はきはきと話す	・相槌
・聞き手に伝わっているか確認する	・リアクション
・必要に応じて、写真を見せる	・聞き返す

性格や状態を表す形容詞、動詞に関するフラッシュカードを掲示する。

⑷　授業観察の視点

ア　自分が最も紹介したい人を選んだり、他者を意識したやり取りの仕方を考えたりすることで「主体的な学び」につながったか。

イ　ペアでやり取りをする中で気付いたことを全体で共有することで他者を意識したやり取りを目指せるようにし、「対話的な学び」を促せたか。

ウ　中間指導を組み込み、他の児童のやり取りを聞いて、友達のよさを自分のやり取りに生かすことで、やり取りを再構築し、「深い学び」に結び付けられたか。